

| | |
|-------------|------|
| 2007年12月21日 | 一部改訂 |
| 2014年1月31日 | 一部改訂 |
| 2015年8月31日 | 一部改訂 |
| 2016年8月31日 | 一部改訂 |
| 2017年8月31日 | 一部改訂 |
| 2018年8月31日 | 一部改訂 |
| 2019年8月31日 | 一部改訂 |
| 2020年4月1日 | 一部改訂 |
| 2021年8月31日 | 一部改訂 |

1.投稿資格

筆頭著者は原則として一般社団法人日本脳神経超音波学会の会員であることとする。

2.研究倫理指針の遵守

- 1) 投稿される論文の研究を遂行するにあたっては、厚生労働省の医学研究に関する指針およびヘルシンキ宣言に準拠し十分配慮しなければならない。所属機関またはそれに準ずる機関で定められた倫理委員会の承認を得ている場合は、その旨を論文に明記する。
- 2) 研究および論文発表に際して、あらかじめ患者（または代諾者）よりインフォームドコンセントを受け、その内容を所属機関で記録しておくとともに、論文に明記する。場合によっては編集委員長から記録の提出を求めることがある。
- 3) 患者個人を識別できる情報（他の情報と容易に照合でき、そのことで患者を識別できるものを含む）は論文に用いない。学術的に用いる必要がある場合は、患者（または代諾者）より文書にて同意を取得し、その旨論文に明記する。同意書コピーは論文に添付する。
- 4) 上記2) 3) について、患者および代諾者に説明を行えない場合、所属機関またはそれに準ずる機関の倫理委員会から論文発表の承認を受け、その旨を論文に明記する。

3.利益相反

投稿される論文の内容に関して、全著者は、一般社団法人日本脳神経超音波学会「医学研究の利益相反に関する指針」および「医学研究の利益相反に関する細則」に基づき、申告すべき利益相反事項の有無を、「連絡票」および「利益相反自己申告書」にて申告のうえ、論文末尾、文献の前に記載する。有の場合は、著者名、企業または団体名、内容を記載する。提出された利益相反自己申告書は、「医学研究の利益相反に関する指針」および「医学研究の利益相反に関する細則」に定める通り取り扱う。

4.投稿原稿の種類

総説・原著・症例報告・技術報告・短報・Letters to the editor・その他編集委員会の認めたものとし、他誌に未投稿、未発表のものとする。本誌に掲載された論文に対する Letters to the editor は、対象論文の掲載から可及的速やか（2か月以内）に投稿すること。

5.原稿の書き方

- 1) 日本語あるいは英語とする。
- 2) A4 判白紙横書き25 字24 行で作成のこと（英文の場合1 ページ約225words）。
- 3) 原稿の長さ

| 原稿種類 | 枚数 (1枚：25字24行) | 英文の場合 | 刷り上がりページ |
|-----------------------|-------------------|-------------|----------|
| 総説 | 20枚以内 | 4500words以内 | 5ページ |
| 原著 | 16枚以内 | 3600words以内 | 4ページ |
| 症例報告 | 12枚以内 | 2700words以内 | 3ページ |
| 技術報告 | 12枚以内 | 2700words以内 | 3ページ |
| 短報 | 8枚以内 | 1800words以内 | 2ページ |
| Letters to the editor | 4 枚以内 | 900words以内 | 1ページ |

注) 図表・写真1 枚は原稿1 枚に換算する。ただし、Letters to the editorは図表1点以内とする。

- 4) 論文は次の順に明記すること。

(1) 表紙

表題（和文・英文併記）：但し表題が和文で50 字または英文で15words を越える場合は和文30 字以内または英文12words 以内の欄外見出し文（running title）を付記すること。

著者名（和文・英文併記）：発表施設が複数の場合は著書名と施設名のそれぞれに番号を入れて区別できるようにすること。

所属（和文・英文併記）

連絡先（和文・英文併記）

(2) 英文要旨（"Letters to the editor"は除く）

200words 以内：ダブルスペース

(3) 英文キーワード（"Letters to the editor"は除く）

2 ないし5 個 ※MeSH(Medical Subject Headings) に準じる。

(4) 本文

原著、症例、技術報告、短報については目的、対象、方法、考察を明らかにすること。

(5) 文献

著者名は筆頭著者から第3 著者まで記載し、第4 著者以下は、和文では「他」、英文では「et al.」と記載する。文献番号は本文に引用された順とし、本文中の引用箇所右肩に、上付で片カッコを付けて記す。

著者が他誌から図表等の転載をする場合には、著者自身で必ず転載許可をとることとする。

Letters to the editorは文献3編以内とする。

① 雑誌

著者名：論文題名. 雑誌名 発行年；巻：掲載ページ（始め－終わり）.

【例】

沼尾 文香, 鈴木 圭輔, 竹川 英宏, 他 : パーキンソン病とその関連疾患における経頭蓋超音波検査を用いた黒質高輝度変化のGray Scale Medianを応用した半定量的評価の検討. *Neurosonology* 2012; 25: 7-12.

von Reutern GM, Goertler MW, Bornstein NM, et al.: Grading carotid stenosis using ultrasonic methods. *Stroke* 2012; 43: 916-921.

雑誌名の略名は医学中央雑誌（日本語）またはJournals in NCBI Databases（その他）に則（のつと）ること

② 単行本

著者または編者（監修者）名：書名, 発行地：発行所, 発行年, 総ページ数.

【例】

金谷春之, 高倉公朋（監） : TCD マニュアルー経頭蓋超音波診断, 東京, 中外医学社, 1996, 155 p.

Zwiebel WJ, Pellerito JS : Introduction to vascular ultrasonography, Philadelphia, PA: Elsevier Science, 2004, 496 p.

③ 単行本のなかの1 編またはある章

著者名：章名, 編者あるいは監修者名：書名, 発行地：発行所, 発行年, 掲載ページ（始め－終わり）.

【例】

古幡博：原理, 金谷春之, 高倉公朋（監） : TCD マニュアルー経頭蓋超音波診断, 東京：中外医学社, 1996, p 26-30.

Saver JL, Feldmann E: Basic transcranial Doppler examination: Technique and anatomy, in: Babikian VL, Wechsler LR (Eds.), *Transcranial Doppler Ultrasonography*, St Louis, Mosby Publishing Co, 1993, p11-28.

④ 抄録号

著者名：演題名. 雑誌名（第〇回総会抄録集） 発行年; 巻(Suppl): 演題番号, 掲載ページ（始め－終わり）.

【例】

藤代健太郎, 原田昌彦, 榎谷直司, 他 : 頸動脈IMTの肥厚に及ぼす因子の検討. 第33回日本脳神経超音波学会総会プログラム・抄録集 2014; 27(Suppl): O-8-5, 84.

Matthias Reinhard: Cerebral autoregulation: from concepts to clinical application. *Neurosonology* 2015; 28(Suupl) : PES-1, 65-66.

⑤ 電子文献

タイトルには媒体を明示し、上記①～④に指定した項目に続き、識別コードまたは閲覧先URL.

【例】

一般社団法人日本脳神経超音波学会(編):脳神経超音波マニュアルver.2.0(CD-ROM).大阪:一般社団法人日本脳神経超音波学会, 2014, 322p.

Sugawara R, Horinaka S, Yagi H, et al.: Central blood pressure estimation by using N-point moving average method in the brachial pulse wave [internet]. *Hypertens Res* 2015; 38, 336–341; doi:10.1038/hr.2015.5.

⑥ Webサイト、Webページ

著者名: Webページ名称. Webサイト名称(インターネット), (更新年月日, 閲覧年月日), 閲覧先URL.

更新年月日は、分からない場合、省略可。

Webサイトの名称が著者名と同じ場合、省略する。

【例】

国立循環器病研究センター: 肺高血圧症の臨床所見と診断. 循環器病情報サービス くわしく知る循環器病/医療従事者向け(インターネット), (更新日2011-10-31, 閲覧日2015-05-26), <http://www.ncvc.go.jp/cvdinfo/target-doctor/pulmonary-hypertension.html#anchor-1>.

U.S. National Library of Medicine: Structured Abstracts. Information for Publishers [internet]. [updated 2014 Oct 01, accessed 2015 Jul 23], http://www.nlm.nih.gov/bsd/policy/structured_abstracts.html.

(6) 図表、写真

- ① 図や写真はそのまま印刷可能な鮮明なものとし、使用ソフトは原則としてMicrosoft PowerPointとする。
- ② カラー印刷を希望する場合はその旨を明記のこと。カラー印刷は有料となり、刷り上がり1頁につき2万円(税込)を請求する。
- ③ 図表はすべて英文とし、表題、表脚注、図説明は別紙に纏めて記載すること。ただし表に関しては表題、表本体、表脚注をまとめて記載してもよい。
- ④ Letters to the editorは図表1点以内とする。

5) ①用語は「脳神経超音波学会用語解説集」に従う。

②数量の記号は原則として国際単位系(SI)に統一し、m、mm、 μm 、kg、g、mg、 m^2 、l、ml、h(時)、min(分)、s(秒)、 $^{\circ}\text{C}$ などとする(cmは慣用的に用いてもよい)

③数字は、アラビア数字を用いる。ただし、漢数字を含む名詞、形容詞、副詞などは除く。

漢字例) 一部分、十数回、十二指腸

④年号表記は西暦とする。

⑤略語を使用する場合は、初出の個所に正式名を書き、それに続いて略語を括弧に入れて示す。演題および英文抄録中の略語の使用は避ける。

- 6) 電子ファイルの提出：本文、図の説明、表の説明文（表題、表脚注）または表（表題・表本体・表脚注）、文献および英文要旨などの電子ファイル を提出するものとする。引用文献のうち、PubMedに登録されていない文献については、書誌事項（著者名、表題、誌名、年、巻、頁、など）が分かる部分をスキャンしたPDFファイルまたはコピーを添える。提出された電子ファイルの返却はしない。

6.論文の採否

査読委員の査読結果にもとづき編集委員会が決定する。掲載にあたっては原稿の一部修正をお願いすることがある。また、場合により編集委員会の責任において修正を行うことがある。

採用の場合は、原則として原稿を返却しない。

研究上の不正、多重投稿、無断投稿、倫理指針手続き違反など不適切行為の疑いが生じた場合、編集委員長に正当な理由が示されなければ、論文受付または採用決定を撤回する。掲載後は掲載を取り消し、その旨を学会誌等で公告する。

7.著者校正

1回のみ行う。但し原稿の追加、大幅修正、データの修正などは認めない。

8.著作権・出版権

本誌に掲載された論文（図表を含む）の著作権と出版権は一般社団法人日本脳神経超音波学会に帰属する。

9.掲載費用

原則として無料であるが、規定のページ数を超過した場合は別途請求する。カラー印刷は有料となり、刷り上がり1頁につき2万円（税込）を請求する。

10.別刷代

別刷は30部まで無料、超える分については1部100円の有料とする（著者校正依頼の際の添付書類により注文を受ける）。ただし、Letters to the Editor には別刷は作成しない。

11.投稿方法

1) 投稿は電子メールを用いる。指定アドレスに、必要ファイルを添付し送信する。

連絡票/投稿申請書（本誌に綴じ込みのもの）を同時添付のこと。

ファイルは、送信前に、文字化けや鮮明度を確認する。

メール1通の受信容量は最大5MBまで。最大容量を超える場合は、複数回に分けて送信するか、CD-ROMで送付のこと。

2) 送付先アドレスおよび連絡先

投稿規程

neurosonology@jikei.ac.jp

〒105-8461 東京都港区西新橋 3-25-8

東京慈恵会医科大学 神経内科 医局内

一般社団法人日本脳神経超音波学会機関誌編集室 編集委員長 井口 保之